令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について

小松市教育委員会

令和８年度の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。市教育委員会では、結果を公表することで、地域の皆様に本市の子供たちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの健全な育成を図っていきたいと考えております。今後ともご理解とご協力をお願いします。

１　参加校

小学校　２２校／２２校　　中学校　９校／９校　　義務教育学校　１校／１校

２　対象学年・教科・調査者総数

①　教科に関する調査

対象学年	調査教科	調査者総数
小学校 第６学年	国語	８５２人
	算数	８５４人
中学校 第３学年	国語	８５３人
	数学	８５４人

国語、算数・数学の出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりである。
①　身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②　知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②が一体的に出題されています。

②　質問調査

・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

対象学年	調査者総数
小学校第６学年	８５４人
中学校第３学年	８５４人

・学校に対する調査（学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

対象学校	調査学校数
小学校	２２校
中学校	９校
義務教育学校	１校

3　調査結果の状況

①　教科に関する調査の状況

小学校の状況

	石川県	全国
国語	平均並み	大きく上回る
算数	平均並み	上回る

全国との比較においては、国語は大きく上回る、算数は上回る結果となりました。
県との比較においては、国語・算数ともに県と同程度の結果となりました。

中学校の状況

	石川県	全国
国語	やや下回る	上回る
数学	やや下回る	上回る

全国との比較においては、国語と数学ともに上回る結果となりました。
県との比較においては、国語・数学ともにやや下回る結果となりました。

②　調査結果から見える小松市の共通課題

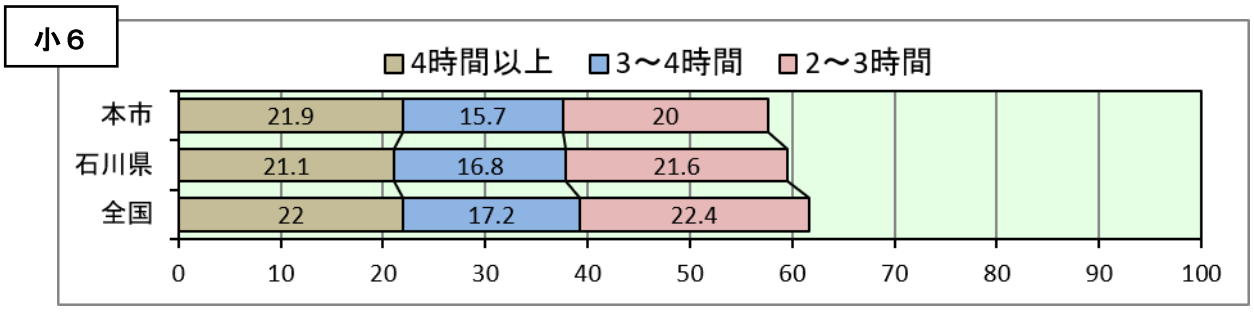
・小学校については、自分の考えを言葉や数を用いて論理的に説明する記述式問題に弱さが見られる。また、算数における立方体の体積や直方体の面構成といった「図形」領域の概念理解に課題がある。
・中学校については、記述式問題における無解答率が高く、考えを言葉にする表現力や粘り強さに課題がある。また、文章や統計データなどの複数の情報を整理し、適切に読み解き活用する力に課題がある。

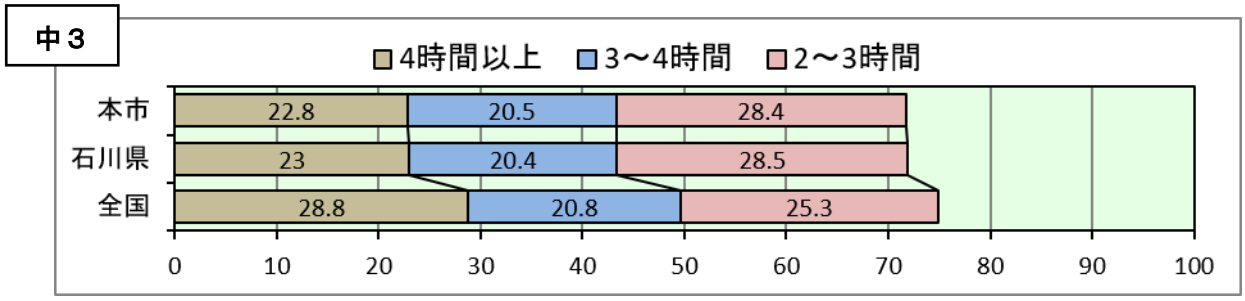
③　質問調査から見えてきた小松市の児童生徒の様子

（凡例のないグラフは、質問事項に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合を示しています。）

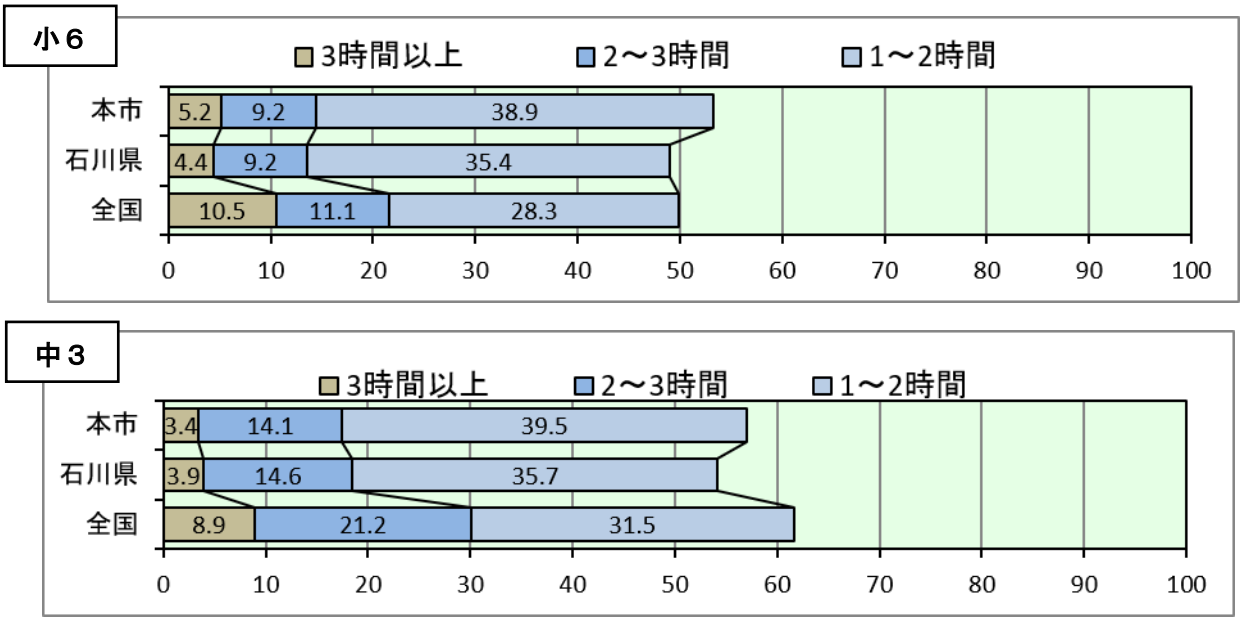
1．生活・学習習慣等

◇普段（月～金曜日）、1日当たりのスマートフォンやネット等の学習以外の利用時間



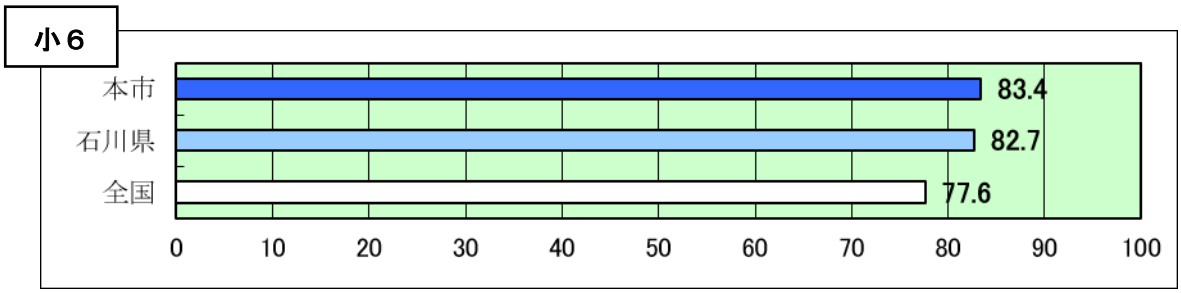


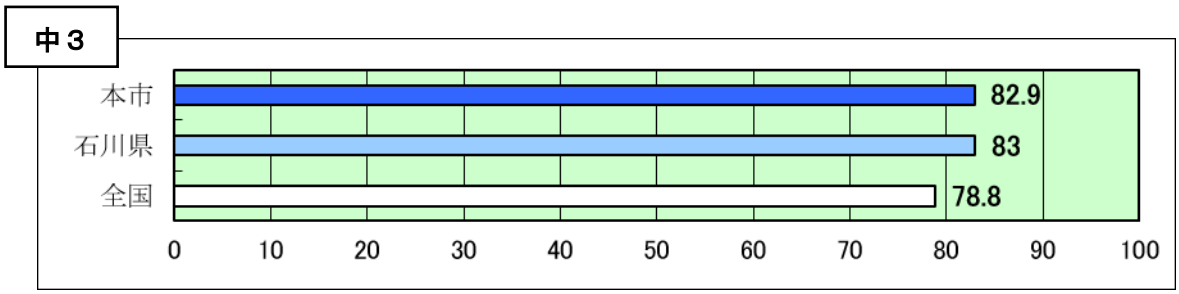
◇普段（月～金曜日）、１日当たりの勉強時間



２．学習への主体性

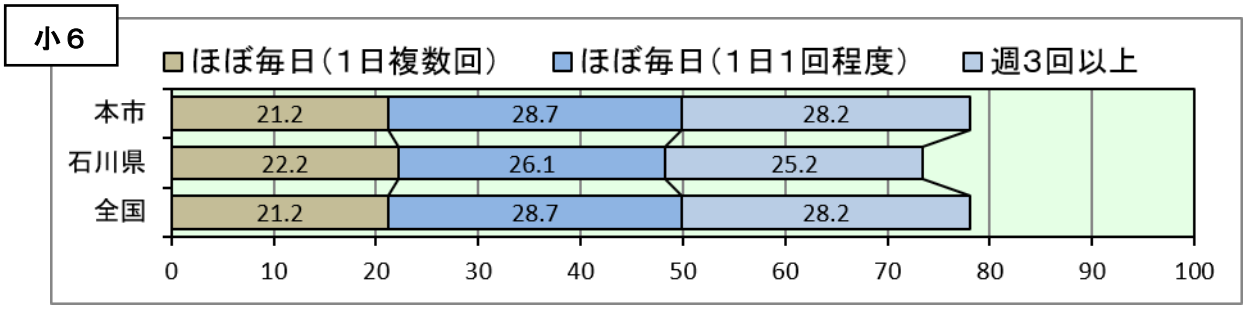
◇授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

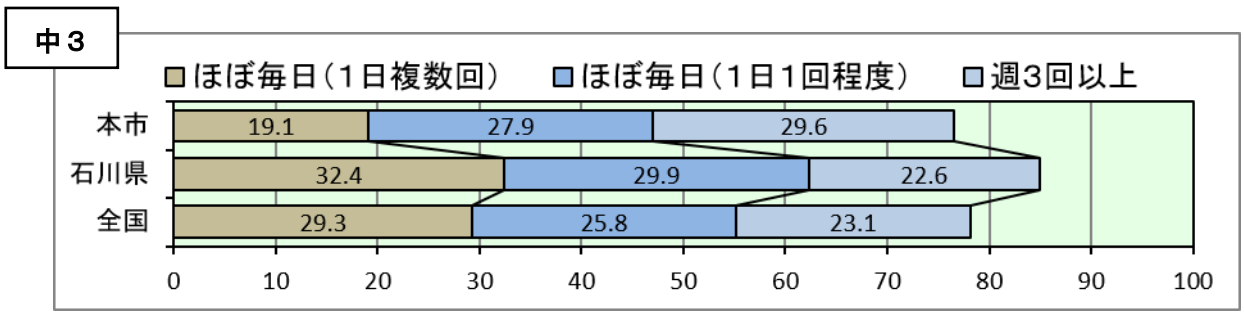




３．ICT の活用

◇授業における PC・タブレットなどの ICT 機器の使用頻度

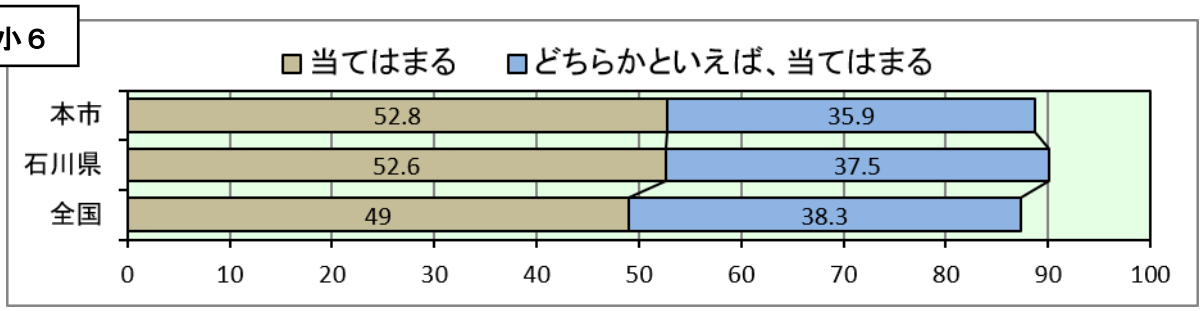




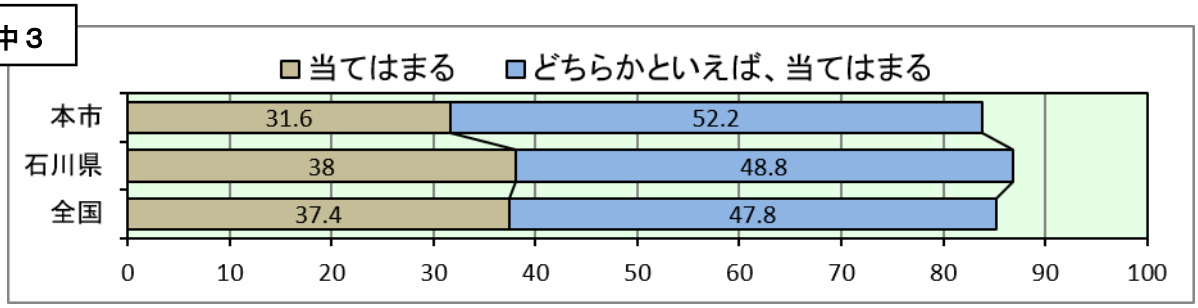
４．児童生徒の意識

◇先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている

小６

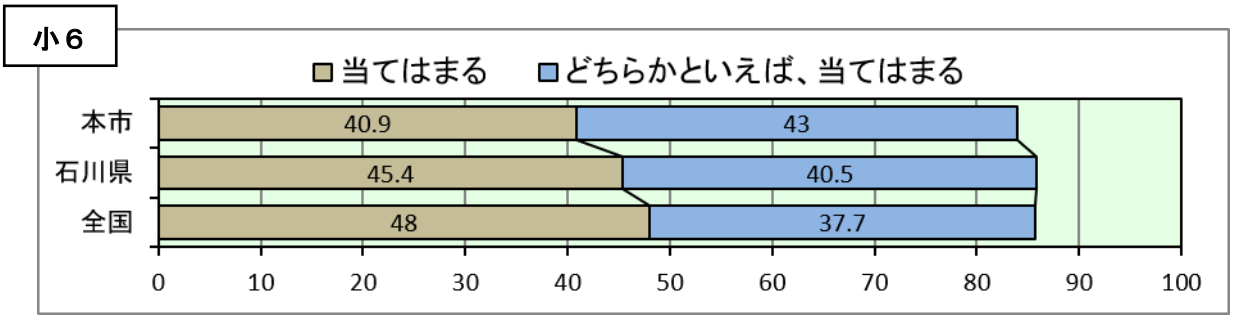


中３



◇学校に行くのは楽しい

小６



中３

